

てんかんで脳神経小児科に通院中の 患者さん・保護者の皆様へ

「神経発達症（注意欠如・多動症または自閉スペクトラム症）が
併存するてんかんの予後に関する観察研究」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科では、てんかんと診断された患者さんを対象に、カルテ、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2013年1月1日から2022年12月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科を受診した、18歳未満でてんかんと診断され2年以上フォローされている患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、「てんかん患者の抗発作薬の減薬または中止後の発作再発と、注意欠如・多動症（ADHD）または自閉スペクトラム症（ASD）の有無の関係」を調査します。また、それ以外にも、「てんかん患者の2年発作抑制（注1）とADHDまたはASDの有無の関係」、「ADHDまたはASDが併存するてんかん患者の治療経過と脳波検査結果の関係」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

注1：2年発作抑制とは、てんかん発症後、2年間連続して発作が消失している期間を得られることを指します。

2. 取り扱う情報

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

- 性別
- てんかん発症年齢
- てんかんの発作型、病型、てんかん症候群、てんかん病因（構造的、素因性、感染性、代謝性、免疫性、病因不明）
- フォロー期間
- 併存する神経発達症（ADHD、ASD、知的発達症など）
- ADHDの病型（不注意優勢型、多動・衝動優勢型、混合型）
- 既往歴
- 周産期歴（在胎週数、出生体重、その他周産期に生じた異常）

- ・家族歴（熱性発作、てんかん）
- ・その他の併存症

【臨床的特徴】

- ・神経発達症の診断に用いた評価尺度の結果（ADHD-RS、ASSQ、PARS 短縮版）

【検査結果について】

- ・脳波検査結果（鎮静薬の使用の有無、覚醒状態、後頭部基礎律動所見、開閉眼賦活所見、睡眠ステージ、Vertex sharp transient、Spindle、突発波、てんかん性突発波の有無、総合判定、サンプリング周波数、基準電極、脳波記録時臨床情報）※日本光電脳波計 Neurofax により記録された脳波
- ・知能検査の結果および知的発達症の程度（なし、軽度、中等度、重度）

【治療経過について】

- ・抗発作薬（使用した薬剤とその効果、開始年齢、終了年齢）
- ・神経発達症に対して使用した薬剤
- ・発作（発作頻度、最終発作の年齢、抗発作薬減薬中止後の発作再発、2年発作抑制）

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2025年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

【利益】

今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来のてんかんの治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【不利益】

カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

前垣 義弘 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科 教授
〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1
TEL：0859-38-6772/FAX：0859-38-6770

2023年08月01日（初版）

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

（URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>）